

# トピックス

※トピックス記事の中には、議会のホームページで詳しく掲載しているものもありますので、ぜひ、ご覧ください。

## アジア太平洋子ども会議・イン福岡 30周年記念行事

7月14日から16日まで、寛仁親王妃信子殿下は、「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」30周年記念行事へのご臨席と地方事情ご視察のため、福岡県にお成りになりました。

15日は、福岡市内で開催された「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」30周年記念式典にご臨席になり、お出迎えした井上順吾議長、小川洋知事らとともにアジア太平洋各国・地域の子ども大使によるパフォーマンスなどをご覧になりました。



この30年間に各国から福岡へやって来た子ども大使は約9,000人、受け入れホストファミリーも7,000家族に及び、福岡とアジア太平洋の各国・地域の子どもの交流の輪は確実に広がりを見せています。

## ジョージ・アリヨシ元ハワイ州知事の県議会訪問

7月20日、福岡県とハワイ州の姉妹提携35周年を機に毎年開催されている「HAWAIIAN FESTIVAL IN FUKUOKA 2018」に出席のため来県されているジョージ・アリヨシ元ハワイ州知事、パートランド・コバヤシハワイ州議会議員ら関係者が県議会を訪問されました。

県議会では、畑中茂広副議長をはじめ各会派の代表者らが訪問を歓迎し、畑中副議長は、「本県とハワイ州との結びつきがさらに強まることを期待するとともに、アリヨシ様の故郷である福岡の地を、一層、魅力あふれるものにしていきたいと考えています」と挨拶しました。



アリヨシ元州知事は、「福岡県とハワイ州の関係を良くすることは、世界のためにもなります。お互いに仲良く、手を取り合い、いつまでもこの関係を続けていくことが大事だと思います」と挨拶されました。

## 「九州の自立を考える会」広域行政セミナー



佐々木信夫氏

6月7日、本県議会議員をはじめ九州の政財界の有志を会員とする「九州の自立を考える会」(会長: 藏内勇夫議員)が福岡市内で広域行政セミナーを開催しました。第14回目となる今回は「東京の政治、日本のこれから」と題して行政学・地方自治論が専門の中央大学名誉教授 佐々木信夫氏に講演いただきました。

佐々木氏は、人口縮小期における統治のしくみとして道州制の導入を唱えられ、「東京一極集中のリスクを絶つためにも、東京2割減反政策を実施すると同時に、新たな日本の形として、全国を10の州にする。これによって30~40兆円を削減し、一方では広域圏同士が競い、対外貿易を活発化することで日本を再生し、人口は減っても豊かな国になっていく。こういうビジョンを掲げて日本づくりを進めてもらいたい」、「釜山、ソウル、上海などを圏域として九州を真ん中に置いて考えると、九州はアジア経済圏の中心であり、ゲートウェイになることは間違いない。日本を州制度に変えると、九州は日

本の中心になる可能性が高く、オーストラリア、インドを超える経済立国になる可能性が高い」、「国家戦略特区の道州制版として九州道州制特区を指定すべきである」と提言されました。

また、この日のセミナーでは、九州の自立を考える会が取りまとめた『九州の成長戦略に係る政策提言』のひとつとして提言していた九州の統一ロゴマーク(下に関連記事を掲載)が正式発表されたことにも触れられ、藏内会長が主催者を代表して、各提言が大きく前進していることに対する関係者の支援・協力にお礼を述べ、来賓として出席した井上順吾議長は、「九州ロゴマークを活用して、九州が一体となったさまざまな分野における取り組み、九州の連携する姿を分かりやすく国内外にPRし、九州の成長・発展に寄与することを大いに期待しています」と挨拶しました。



## フランスにおける九州合同プロモーション

ラグビーワールドカップ2019福岡開催の成功に向け、7月1日から4日までの日程で、井上順吾議長は、各会派の代表者や小川洋知事、九州・山口各県と経済界のトップで構成する九州地域戦略会議の方々と共にフランスを訪問し、福岡や熊本など九州での試合が決定している同国からの観光客の増加を図るため、伝統文化や観光資源などの魅力をPRするプロモーションを行いました。

主な活動としては、九州観光セミナーとして、現地の旅行社等を対象とした九州観光のプレゼンテーションや個別商談会を実施するとともに、九州合同レセプションとして、フランスの政府・スポーツ・旅行・メディアの関係者を対象に観光や伝統工芸、食など魅力をPRしました。また、パリ市内の展示会会場では、イベントを行うとともに、発表されたばかりの九州ロゴマークを活用した九州合同のブースを出展し4日間に渡りRWC2019や観光についてPRを行い、九州が一体となった取り組みを強く印象付けました。

訪問団は、この他にもフランスラグビー連盟のセルジュ・シモン副会長やフランス観光開発機構、フランス欧州・外務省、在フランス日本大使館を訪問し、今後の九州とフランスの交流について意見交換を行いました。



フランスラグビー連盟を訪問(左から6番目がセルジュ・シモン副会長)



展示会会場の様子



このロゴマークは、今後、九州・山口の複数の県が連携して取り組む事業などで活用されます。